

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	24
所管センター	四国
分野	その他
研修コース名（日）	農業残渣物からの高付加価値ナノセルロースの抽出技術の習得研修
受入人数	3
受入時期	上半期
来日日	2025年5月11日（日）
帰国日	2026年1月30日（金）265日間、離日日は技術研修終了日翌日または翌々日を予定
提案団体（日）	国立大学法人徳島大学
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.tokushima-u.ac.jp/
研修員必要資格	理系大学在学中または卒業
研修員に必要な 実務経験年数	不問
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	不問
英語能力（選択）	英語での資料読解、発表、レポート作成可
研修目標	全世界で自然環境保全を目指した農業残渣物から抽出されたナノセルロースが必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得る。さらに、徳島大学での先進技術を知ることで、日系社会の発展と移住先国の国造りに貢献できる新しい取り組みを検討する。
期待される成果 （習得する技術）	1. 通常のセルロースとは異なるナノセルロースについての知識を得ること 2. 最新のナノセルロースの研究動向と徳島県立農業大学校を見学し日本の最新の集約型農業についての知識を知ること 3. 農業残渣物(徳島県名産のすだち)から抽出されたナノセルロースの抽出試作研究を行い、専門知識を得ること
研修計画 （内容）	1)調査：教員からの個別のレクチャー、学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出ならびナノセルロースの現状分析調査を行う。最新の研究動向を情報収集し、大学院進学が可能となるように研究指導を行う。2)試験計画策定：問題点を解決するための農業残渣物からナノセルロース抽出について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。3)試作試験：農業残渣物からナノセルロース抽出を行う。4)分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。5)解析・まとめ：分析結果から目的とした農業残渣物からのナノセルロース抽出の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	本研修により、ナノセルロース使用の重要性が理解されるコンセンサスが形成され、日本の高度な材料開発技術と中南米熱帯地区の農業残渣物が組み合わせられることで、中南米における新たなビジネスチャンスに繋がる可能性がある。日本と中南米の日系社会がともに発展し、日本・中南米地域だけでなく、世界に貢献出来る自然環境保全に向けた活動になる可能性がある。加えて、徳島大学で取り組んでいる地球規模課題を解決するための持続可能な開発目標（SDGs）関連研究等の先進技術を見学することで、日系社会の発展と移住先国の国造りに貢献できる新しい取り組みを自ら検討する。
応募希望者への特記事項	video chatで、質問事項はいつでも受け付けます。連絡先：nakagaito@tokushima-u.ac.jp 英語・日本語に加え、ポルトガル語によるメール対応可。 日本語能力は不問ですが、研修期間中は徳島大学が開講する日本語教室を受講することができます。